

新部 会員も誕生！ 親睦 フォーラム開催



多くの会員が参加し盛り上がった親睦フォーラム

会員同士が気軽に意見交換

まだ部会に入部していない会員に、気軽に参加してもらい、今後の活動の方向性を探るための「親睦フォーラム」を6月20日、枚方市民会館で開催しました（写真上）。当日は67人の会員が参加。部会ごとに別れたテーブルでは、今後の活動について熱い話し合いがもたれました。このフォーラムをきっかけに新しく部会に入部した会員もあり、参加者からは「またこのような機会を設けて欲しい」との声が出ていました。

目次

親睦フォーラム&CO2削減キャンペーン	----- 2
各部会&運営委員会の活動	--- 4
特集部会紹介	----- 6
お知らせ	----- 7
団体紹介	----- 8

今後の活動の方向性を探る

6月20日 親睦フォーラム

会員同士が活動に対する想いを披露

67人の会員が参加

軽食を食べながら、楽しく交流

会員同士が気軽に意見交換を行う、ティーパーティ形式の「親睦フォーラム」を6月20日午後1時から、枚方市民会館で開催しました。

ひらかた環境ネットワーク会議も設立から4か月が経過し、各部会の活動が進む一方、会員からは「参加したいけど敷居が高い」「何から始めたらいいのかわからない」などの声があり、多くの会員が気軽に参加できて、部会の活動などについて意見交換ができる場を提供しようと、このフォーラムを企画しました。

当日は台風6号の影響で、どんよりとした蒸し暑



会員同士、和やかに意見交換

い天気にもかかわらず、67人の会員が参加。既に部会に入っている人も、まだの人もそれぞれ部会ごとに別れたテーブルに着席しました。

フォーラムは、谷崎利男会長の「日頃思っていることを存分に話してください」との挨拶ではじまり、各部会長や顧問の紹介、ルール説明の後、各テーブルで気軽に軽食をつまみながらの意見交換が始まりました。

途中のシャッフルタイムでは、「他の部会がどのような活動をしているのか」と自由にテーブルを移動して話を聞く人で大いに盛り上がり、また思いついたことを自由に書いて貼れるようにと設けられた「書きたい放題ボード」には、多くの貴重な意見が貼り付けられ（3ページ参照）参加者の活動に対する熱い想いが感じられました。

今回は、顧問の植田和弘さんと平峯悠さんにも参加いただきました。両顧問は、各テーブルを回りながら、活動に対するアドバイスや、参加者からの質問に答えておられました。

このフォーラムをきっかけに部会に加入した会員も多く、今回の「親睦フォーラム」は、ネットワーク会議にとっても、会員にとっても有意義なものとなりました。

植田和弘さん（京都大学教授）



- 市民の感覚と専門家の知恵が必要。枚方市内には多くの専門家がいます。アイデアを実現するには専門化の知恵を借りることが重要。
- 具体化する場所を設定することが重要。

平峯悠さん（地域デザイン研究会理事長）

- 議論は十分されているが、これをどう届かすかが問題。
- 行政の見方でなく、市民の感覚で考えることが重要。住み方、日常生活の感覚を大切に、こうなったらいいなというところから考える。



こんな活動がしたい、こうすれば枚方が良くなる

「書きたい放題ボード」に寄せられた会員の声

- ・枚方市内の環境団体の活動成果を発表できる場を、ネットワーク会議で作ったらどうか。
- ・夏季の気温を下げるために、駐車場や道路等を緑化ブロックや透水性舗装にする。
- ・我々の生活に欠かせない水は淀川に依存しているが、市民の関心は決して高いとは言えない。
- ・穂谷地区の見学で気づいたこと、天の恵みである雨水が全く利用されていない。
- ・自動販売機の設置を減らす。これにより、使用電力量の削減、景観の向上が果たせる。
- ・市内にブロックごとに、ごみステーション（鉄製の恒久的なもの）を作り配置する。
- ・水生生物、昆虫、野鳥等が増えるような街づくりをしてほしい。それが良い街づくりになる。
- ・天の川の見学会をしてほしい（活動しておられる方の説明も頂きながら）。

これらの意見は「会員の声」として、今後のネットワーク会議の活動に生かしていきます。また次号以降で、ご意見についての連載を予定しております。また今回掲載できなかったご意見を含む詳しい内容は、近日中にホームページで掲載いたします。

多くの貴重なご意見ありがとうございました。

ひらかたパークなど市内各所で消灯実施

CO2削減100万人の環キャンペーン

ひらかた環境ネットワーク会議では、6月20日の午後8時～10時の間に消灯をして、スローな夜を過ごすことを市民・事業者呼びかける「CO2削減100万人の環キャンペーン」を展開しました。

これは、地球温暖化防止につながるライフスタイルへの変革を実現するため、環境省が国民に「消灯」を広く呼びかける同キャンペーンに、ネットワーク会議が応じて実施したものです。

同キャンペーンでは、6月初旬から会員にチラシやポスターを配布するとともに、ネットワーク会議のホームページや「広報ひらかた」、「エフエムひらかた」(77.9MHz)を通して市民に広く呼びかけを行いました。

また事業者に対しては市内2100事業所にキャンペーンへの協力とネオンサインなどの消灯を依頼。6月20日の当日には「ひらかたパーク」の大観覧車をはじめ、市役所の各施設や市内の大学などが消灯に協力してくれました。

全国では東京タワーをはじめとする6069のランドマーク施設（その他、通天閣、大阪城、天保山の大観覧車、道頓堀のグリコネオンなど）がネオンサ



ライトダウンされた
ひらかたパークの観覧車

ひらかたパークの
観覧車の照明も消えた！

インの消灯を実施し、家庭においても多くの人が消灯に協力をしました。

ネットワーク会議では、今後もこのようなキャンペーンを通じて、市民や事業者に環境問題への理解を求めています。

参加事業者・施設

- ・(株)エフエムひらかた
- ・大阪工業大学情報科学部
- ・摂南大学薬学部
- ・ひらかたパーク
- ・枚方市水道局
- ・(株)山崎製作所 ダースリントール枚方ステーション
- ・ユニオン興産(株)

いよいよ本格的に活動開始

自然環境部会

現状を知ることから始めてみませんか！

市内に遺された貴重な里山、穂谷野外活動センター周辺は遠くから見ていると緑豊かで、まさに“里山”と呼ぶにふさわしい容ぼうをかもし出しています。そんな里山ですが実際はどうなんだろうかと、5月22日、23人の参加者とともに歩いてきました。そこには遠くから眺めているのとは違った悲惨な現状がありました。抉り取られてむき出しになった山肌、そこに捨てられている



大型家具や電気製品その他雑多な廃棄物・・・



参加者からはこんな声も「富士山もそうやなー、登ったら汚いでー」本当に日本の何処でも起きています。目をそらさず、現状を知り、そこから何が出来るのか、一人ひとりが考えみんなで知恵と力を寄せ合えればと話し合いました。皆さんも是非知ることから始めてみませんか？

ごみ・エネルギー部会

今年度は部会員の相互理解と情報の共有化を図ります！

平成16年度は部会員相互理解および情報共有化のために、個人・団体ですで行われている取組み・活動の現状報告・紹介を行っていきます。同時にごみおよびエネルギー分野の現状・問題点を広く展望して、意見の集約および統一的な方向を模索していきます。

2月15日の第1回ミーティングから第6回現在まで、下記のようなテーマで意見交換を行ってきました。

- ・枚方市のごみの現状と減量化への取組み
- ・枚方市地域新エネルギー市民会議での取組み
- ・NPO法人「エコ・スマイルひらかた」における活動
- ・資源ごみに対する自治会の取組み
- ・枚方市地域新エネルギービジョンについて
- ・天ぷら廃食用油の再資源化について
- ・自然分解性フィルムについて
- ・おおさかパルコープの環境に関する取組み

次回の7月16日(金)、第7回ミーティングでは、「続：おおさかパルコープの環境に関する取組み」「環境問題に対する一提言」について報告・質疑応答・意見交換をする予定です。

公共交通部会

当面、自転車部門、バス部門の二本立てで活動していきます！

4月26日、平峯顧問に話題提供をお願いし、「交通を考える～誰が、どのように取り組めばいいのか」と題してセミナーを開催しました。

5月17日ミーティングにおいて、バス部門、自転車部門の年間活動計画を立てました。

1. 自転車部門では、「自転車利用による快適な生活を」をモットーに、
 - ・自転車通行にとって良いところと悪いところ、その改善策
 - ・河川敷の自転車道整備方策 等を進めます。
2. バス部門では、
 - ・バスの意義や現状の把握
 - ・バスが利用しやすい交通手段となるための検討 など行っていきます。